

第2次5ヵ年計画（2022～2026年度）重点施策【大学】

【大学】

	取り組み内容	KPI/2026年度の目標値
重点方針	<p><u>魅力ある学部・学科を展開し、優秀な学生の確保、実学教育の強化によって多様な分野に卒業生を送り出す</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新入生の獲得 ■ 離学者数の低減 ■ 進路決定率関西No.1 ■ 学部学生の安定的な確保 	<p>入学定員を確保する</p> <p>離学率を3.5%以下に引き下げる</p> <p>進路決定率95%以上</p> <p>学部学生在籍者5,030名以上の維持</p>
入学者確保	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志願者確保、偏差値上昇による優秀な学生の確保 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 偏差値50以上の学科の実現 2. 志願倍率8倍以上の維持
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電通校および特別連携校との高大接続の強化 	<p>入学前授業科目の学修の単位認定</p>
教育・研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会的ニーズへの対応、教育の質向上をめざした学部・学科の再編および教育改革 	<p>学部・学科再編、カリキュラム改革案の検討と順次実施</p>

第2次5ヵ年計画（2022～2026年度）重点施策【大学】

【大学】

	取り組み内容	KPI/2026年度の目標値
教育・研究	<ul style="list-style-type: none"> ■ 全学共通の情報教育を確立し順次実施する 	<p>情報基礎教育、データサイエンス、AI、プログラミング教育等を検討し、1年次生が全員履修</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際的視野をはぐくむカリキュラム、専門分野と結びついた英語教育、海外留学派遣の促進と留学生受け入れ拡大を通じて実学的な国際素養と国際感覚を育てる 	<p>2024年度カリキュラム改革の実施と留学派遣・受け入れの推進</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 社会人を受け入れ、リカレント教育を推進 	<p>公開講座受講者、大学院への入学者、研究生、履修生を拡大し、100名増を実現</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教育条件の維持・改善のための教員の適正な配置 	<p>教員1人当たり学生数の維持（2021年度比）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 内部質保証の取り組みの実施 	<p>各学部・機構の全ての学科・センターで第三者評価を実施</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大学院教育の強化 	<p>博士前期・修士課程学生の入学定員充足</p>

第2次5ヵ年計画(2022~2026年度)重点施策【大学】

【大学】

	取り組み内容	KPI/2026年度の目標値
教育・研究	■ 課外活動の活性化	在学生の学生団体への加入率35%
	■ 研究力の強化	専任教員の学外研究費(研究分担含む)獲得者率70%
	■ 資格取得の奨励	資格講座受講者・受験者2.3倍以上(2020年度比)
社会貢献・地域貢献	■ 社会・地域貢献イベント等の実施拡大	社会・地域貢献イベント件数を2倍以上(2020年度比)
運営基盤	■ 補助金の獲得を強化、拡大	私立大学等改革総合支援事業を毎年度獲得する

第2次5ヵ年計画（2022～2026年度）重点施策【高等学校】

【高等学校】

	取り組み内容	KPI/2026年度の目標値
重点方針	<p><u>生徒・保護者に選ばれるための、学力向上と一人ひとりの能力を伸ばす高校づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 魅力ある教育の推進 生徒を獲得できる魅力ある教育の確立 ■ 運営基盤の強化 在籍者1,080名以上の確保 	
教育	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大阪電気通信大学への進学促進 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 工学科からの進学率60% 2. 普通科からの進学率40%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒の学力向上 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大阪電気通信大学プレイスメントテスト 3教科平均点の向上 2. スタディサプリ到達度テスト 3教科合計平均点の向上 3. スタディサプリ宿題提出率80%
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒の人間力向上 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生徒の主体性を育む教育の実施 (生徒による行事の企画・運営) 2. 部活動の活性化 (学校評価アンケート:部活動評価指60%)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業の質の向上 	<p>教師の質の向上 (研修会への参加、授業交流の実施等)</p>

第2次5ヵ年計画(2022~2026年度)重点施策【高等学校】

【高等学校】

	取り組み内容	KPI/2026年度の目標値
教育	■ ICTを活用した教育の推進	1. 全学級担任がICTを活用したHRを運営 2. 全授業担当がICTを活用した授業を展開
	■ 女子生徒も獲得できる学校づくり	女子生徒在籍率5%
	■ 教育の質向上に繋がる教員評価制度の推進	教員評価制度を導入し、教育の質向上に繋がるPDCAサイクルを確立する
	■ 離学者数の低減	在籍率93% (3年間在籍する生徒の割合)
運営基盤	■ 在籍者の確保	年度末在籍者 1,080名以上

第2次5ヵ年計画（2022～2026年度）重点施策【法人部門】

【法人部門】

	取り組み内容	KPI/2026年度の目標値
重点方針	<p><u>経営の質向上を目指したリソース強化とガバナンスの充実</u></p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全学級担任がICTを活用したHRを運営 2. 全授業担当がICTを活用した授業を展開
運営基盤	<p>■ 「社会に役立つ」ブランド戦略 「社会とのつながり」「社会での活動」に焦点を当てた広報による認知度向上</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日経BP大学ブランドランキング 有識者認知率80%(近畿編) 2. 高校における高大連携コースの発信による認知度向上
	<p>■ 戦略企画機能の強化 (学園・大学・高校)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 戦略企画・IR推進部署の設置と運用 2. 情報に基づく継続的な学園運営方針の検討
	<p>■ 人材開発システムの構築 (教職員の「質」の向上)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営幹部人材の開発 2. 個人評価システムの充実

第2次5ヵ年計画(2022~2026年度)重点施策【法人部門】

【法人部門】

取り組み内容

KPI/2026年度の目標値

- 多様性の推進
 - ・多様な価値観を認め合う風土の醸成
 - ・グローバル化を促進するための体制強化

1. 多様性推進体制の構築及び環境づくり
2. グローバル化ポリシーの策定、体制強化
3. 学園全体の女性教職員比率の増加

- キャンパスグランドデザイン

1. 寝屋川新キャンパス計画の完遂
(第1次5ヵ年計画から継続)
2. 学園全体の中長期ファシリティマネジメントの推進

- 事務の効率化を実現する
情報システムインフラの構築

1. 各種申請手続きの電子化
2. 財務・人事システムの最適化

- 強固な財政基盤の堅持

1. 経営判断指標に基づく「経営状態の区分」
正常状態の維持
2. 経常収支差額率5%以上の維持

- 学園ガバナンスの充実

新たなガバナンス要請への対応

運営基盤